

たまむらぎかいだより



Tamamuragi

令和8年度より
新たにスタートする
芝根分団 (関連記事 P.2)



改選後 初の定例会

一般質問に12人が登壇!!



文化センターの
イチョウ

重田家住宅にて
「灯と文化の宵」



ポン!パスツ!パスツ!

スポーツで玉村町を未来へつなぐ!

「玉村ミニバレーボールクラブ」の皆さん

みんなの
広場
P.22

町民のニーズが 政策に 反映されているか

改選後初の定例会

町長から補正予算のほか、条例の制定や一部改正、指定管理者の指定などの議案が提案され、慎重に審議した結果、全て原案のとおり可決しました。

また、一般質問は12名の議員が行い、様々な角度から町政全般を質^{ただ}しました。

条例の整備

「こども誰でも通園制度」が本格実施

原案可決（賛成全員）

保育所等を利用していないゼロ歳6か月から満3歳未満の子どもを対象。ひと月当たり一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる新たな制度が本格実施。

条例の改正

老人福祉センターの名称を変更

名称を「玉村町ふれあい交流センター」に変更。

高齢者のみならず、多世代の住民に利便性を体感してもらえよう整備。

玉村町消防団再編の進捗に伴い、名称等を変更

令和8年度から玉村分団、芝根分団、中央分団をスタートさせるために、詰所の名称及び位置を改正。

くらし・まちづくり

役場庁舎の増築に向けて現況測量を実施

役場庁舎増築事業

183万円

役場庁舎の増築に向けて、現況測量を実施する費用を計上。



庁舎の増築に向けて現況測量を実施

「道の駅玉村宿」の駐車場周辺を整備

112万円

道の駅玉村宿の東側駐車場南側法面の経年劣化した防草シートを張替え。

12月1日～10日
12月定例会

◇補正予算 [賛成全員] で原案可決

令和7年度玉村町一般会計補正予算(第7号)
歳入歳出予算の総額に、4億990万円を追加
(総額142億4785万円)

10月31日
臨時会

令和7年度玉村町一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出予算の総額に、480万円を追加
(総額138億3795万円)



中央児童館の運営を支える駐車場整備

中央児童館職員駐車場代替地整備費
162万円

教育

重田家住宅の屋外に公衆
トイレを設置
598万円
企業版ふるさと納税を活用し、重田
家住宅屋外公衆トイレを設置する費用。

用水路の改修
113万円
飯塚地区内の用水路を改修。

現在の職員駐車場が使用できなくな
るため、代替地の駐車場整備費を
計上。

指定管理者を指定

●玉村町北部公園

指定管理者…株式会社スポーツプロ
テクト
指定期間…令和8年4月1日から
5年間

提案価格…2247万円(5年平均)

●玉村町社会体育館

指定管理者…フレンドシップたまむら
指定期間…令和8年4月1日から
5年間

提案価格…2365万円(5年平均)

●玉村町総合運動公園、 玉村町東部工業団地内 運動公園及び玉村グラ ウンド・ゴルフ場

指定管理者…企業組合 群馬中高年
雇用福祉事業団
指定期間…令和8年4月1日から
5年間

提案価格…2070万円(5年平均)



誰もが参加できる身近なスポーツ
(角淵の玉村グラウンド・ゴルフ場)

Tama Voice

ほとんど毎日、体力増進と健
康維持のために、グラウンドゴ
ルフを楽しんでいます。
朝9時から夕方5時まで、
自由に無料でプレイできます。
どうぞ遊びに来てください!

阿部祐子さん
(中樞越)



陳情 慎重審議の結論

指定期間の変更

●道の駅玉村宿

現在の指定管理者の指定期間を、高崎市の計画する複合商業施設の開設予定時期まで延長。

指定管理者：タムムラデリカ株式会社

指定期間：令和3年4月1日～

令和8年3月31日を

令和10年3月31日に変更。



駐車場が広くて町民が立ち寄りやすい「玉村宿」

教職員定数の改善を求める意見書採択の陳情書

陳情者

群馬県教職員組合県央支部 支部長

民生文教常任委員会における審査
趣旨採択とすべきもの

[趣旨採択4名・不採択1名]

本会議における審議 賛成全員で趣旨採択

義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書採択の陳情書

陳情者

群馬県教職員組合県央支部 支部長

民生文教常任委員会における審査
趣旨採択とすべきもの

[趣旨採択4名・不採択1名]

本会議における審議 賛成全員で趣旨採択

Tama Voice

新鮮な野菜、時には珍しい野菜もあり楽しいです。お土産も揃っているので助かります。町外に住む友人たちからも評判がいいですよ！
平野安美さん（上之手）



傍聴できます

いつでも。だれでも



開催日時など、詳しくは議会HPへ

玉村町議会の「本会議・常任委員会・特別委員会」は、どなたでも傍聴することができます。議会では、皆さんの日常生活に関係のある重要な問題を審議しています。もっと町政を知るために傍聴してみませんか。役場4階にお気軽にお越しください。



受付は4階



傍聴席は20席



傍聴席から見た議場

開催日は決まり次第ホームページでお知らせするほか、議会事務局 (0270-64-7716) でもご案内しています。

読まれる広報が議会と住民をつなぐ

議会広報研究会 令和7年11月20日（木）群馬県市町村会館

◆議会の見える化 住民の参加・協働&認知・信頼関係

議会広報サポーター 一般社団法人 埼玉県コミ
ニケーションセンター理事長 芳野政明氏

議会広報の目的と役割に関する研究会でした。
自治会や議会の『見える化』を進め、『開かれた議会』など住民に読まれる議会だよりへ移行

して、目的意識を持って、議会広報の役割や目標を検討することが必要だと思いました。また読まれる広報・伝わる広報が前提であることも大きな意味を持つと思いました。研究会において、今まで知らなかったことを学んで、今後の議会だより作成の参考になるのではないかと感じ、とても重要な研究会でした。

デジタルと政治から考える、これからの議会活動

町村議会議員研修会 令和7年11月5日（水）玉村町文化センター

◆地方議会のデジタル化の意義と課題

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授
湯浅壘道氏

◆時局展望

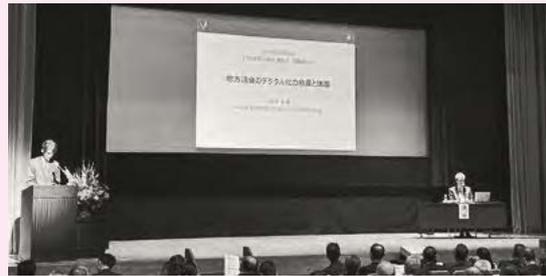
政治ジャーナリスト 細川隆三氏

「デジタル化」についての講演では、従来のアナログ方式とデジタル方式の相違について例を挙げ、デジタル化の方がずっと手軽で、緊急時の対応に便利で実効性があることを学びました。低コスト・時間短縮・単純ミス削減など利点が期待できることも分かりました。しかし、サイバーセキュリティの問題があることや、法の制限や制約がありデジタル化できない事項もあることなど、考えなければならない部分もあ

ると感じました。

「時局展望」では、政治の話が興味深く、さらに聞きたいと思うほどでした。

どちらの講演も意義深く、学びの多い内容でした。今後の議会活動に役立てていきたいと思う研修会になりました。



「地方議会のデジタル化の意義と課題」の湯浅壘道氏（右）

地域の声を聞く

玉村町商工会と意見交換会を行いました

玉村町商工会・玉村町議会意見交換会 令和7年11月10日（月）玉村町商工会館

11月10日に玉村町議会は玉村町商工会を訪問し、意見交換会を行いました。昨年10月より5人の新議員を迎え、新たな顔ぶれとなつてから初めての意見交換会となりました。

意見交換会では商工会の組織や活動内容や商工会員数の推移や予算、事業実績等について説明をいただいた後、意見交換を行いました。

そして商業部会・工業部会・青年部・女性部の各部会より、活動内容や活動における工夫や課題等を詳しくお聞かせいただき、意見交

換や質疑を通してより理解を深めることができ、大変有意義な時間となりました。



商工会と議会が率直な意見を交わし、理解を深めました

令和7年12月定例会

町の課題や今後について、議員が提案も含めて町に考えを聞く「一般質問」。

本会議において、白熱した論戦が繰り広げられます。

12月定例会で登壇した12人の議員はどんな視点で質問し、そして町はどう答えたのか。町の「今とこれから」が見えてきます。

12人の 論戦

鋭く迫る！ 一般質問



皆さんは、どのキーワードに関心がありますか？

まちづくり

旧両水跡地周辺開発の進捗状況は(浅見 P.8)

五料・飯倉地区農地利用活性化基本構想
(高橋 P.15)

交通・道路

生活道路の補修 (松本 P.7)

上陽地区の通学路や主要交差点における歩行者の安全確保 (峯岸 P.10)

安全対策としてカーブミラー設置予算のさらなる確保を (備前島 P.11)

高齢者タクシー利用補助券の交付枚数増へ (羽鳥 P.12)

交通弱者の安全確保を (川端 P.13)

デマンド乗合タクシーたまGOの利便性向上 (嶋田 P.16)

防災

高橋川の整備計画 (松本 P.7)

高橋川の整備計画を求む (井上 P.9)

教訓を踏まえた防災・減災対策を (峯岸 P.10)

災害時における民間事業者との災害協定締結 (羽鳥 P.12)

矢川樋管付近の水防対策の充実の考えは (高橋 P.15)

矢川樋管の安全性は (嶋田 P.16)

<らし

「学校開放事業」での冷房設備の利用 (松本 P.7)

小中学校体育館の夜間のエアコン使用許可は (浅見 P.8)

住宅リフォーム補助制度は、地域経済活性化に有効か (備前島 P.11)

玉村町B&G海洋センターの今後の運営方針、改修、修繕計画等 (川端 P.13)

桜の被害とクビアカツヤカミキリの対策は (月田 P.18)

教育・福祉・健康

校内教育支援センターの活用状況は (松本 P.7)

温暖化に伴う教育関連設備の対応等 (川端 P.13)

乳がん検診無料受診シール対象拡大を (笛木 P.14)

地域で放課後の居場所づくりと不登校支援の推進を！ (堀越 P.17)

健康寿命を延ばす町づくりと、介護保険料県内統一化への対応 (堀越 P.17)

その他

移住定住希望者への発信強化を (井上 P.9)

町政運営における財政戦略について (羽鳥 P.12)

サイバーセキュリティ対策は (月田 P.18)

庁舎1階にあるデジタル表示パネル、復活できないか (月田 P.18)

※ () 内は質問者と掲載ページ

全文記録(会議録)は2月末に議会ホームページで公開予定です。



玉村町議会会議録



教育

校内教育支援センターの活用状況は

「私の視点」

校内教育支援センターは、集団生活や集団内における人との関わりを学ぶ場であり、多様な子供たちを受け入れる場でなければならない。

答弁（教育長）「安心できる居場所」として機能している

問 校内教育支援センターを活用している児童生徒に変化は見られるか。

答（教育長）「過去2年間、ほぼ不登校であった児童が4月からはほとんど休まず登校できるようになった」との報告を受けている。現在では通常の教室で授業を受けたり、給食は自分で教室へ行って食べられるようになったりするなど、活動の場が着実に広がっている。

問 週5日の対応が行えるようにする考えはあるか。

答（教育長）予算面の拡充や適切な支援員の人材確保などの課題をクリアしながら、可能な限り支援員の配置日数や時数の増加を目指していきたいと考えている。

「学校開放事業」での冷房設備の利用

問 冷房設備の来年度からの利用は可能か。

答（教育長）今年度中に工事が完了する予定のため、令和8年度の夏から全ての小中学校で利用を可能とする方向で考えている。

問 利用条件は。

答（教育長）新年度4月に開催予定の「学校開放利用団体代表者会議」において、運用ルールの周知や利用料金について説明したいと考えている。

高橋川の整備計画

問 高橋川の整備計画はどのようになっているのか。

答（町長）こういった作業が必要で、どのような手順で実施するのか、どのくらいの費用と期間が必要となるのかなどを整理し、今後の取組方針を定めるための基本計画策定業務を令和8年度に実施したいと考えている。

生活道路の補修

問 各区の要望のうち、今年度中に行われる補修等の工事は何件か。

答（町長）比較的規模の大きい200万円以上の工事は7件、早急に対応が必要な補修工事は31件発注済みとなっている。緊急性や他の要望箇所とのバランスなどを考慮しながら工事箇所の選定を行わざるを得ないため、全ての要望に対応できていないのが現状である。



ゆったり過ごせる校内教育支援センター
（上陽小学校）

次のページは



浅見議員



井上議員

一般質問



開発

旧両水跡地周辺 開発の 進捗状況は

「私の視点」

旧両水跡地周辺開発の進捗状況は、町民も大変関心がある。市街化区域への編入やその後の準備等が予定どおりに進み、令和10年春頃の開業が待ち遠しい。

答弁（都市建設課長） 令和10年春のオープンを目指して進めている

問 旧両水跡地の開発について、「進出を希望する企業と協力しながら各種手続を進めており、現在、農林調整に関する国・県・関係機関との協議が完了したところである。今後は、本協議、治水協議、公聴会、都市計画審議会などの手続を経て、令和7年度に県全体で実施される第9回線引き定期見直しで、市街化区域への編入を予定している」とのことだった。進捗状況は。

答（町長） 現在、各手続が予定どおりに進んでおり、令和7年12月末に市街化区域へ編入となる予定である。

問 進出を希望する企業の開発や建築に係る各種申請の状況は。

答（町長） 市街化区域編入後の令和8年1月以降、事業者の準備ができ次第、順次行われる。

問 西側の地権者との話し合いの状況は。

答（町長） 用地の確保に関しては、事業者が行っ

ているところだが、おおむね合意に至っていると聞いている。

問 歩道整備を行うことになっていると思うが、進捗状況は。

答（町長） 進出する事業者が造成工事を行う際に実施することとなっている。

問 令和9年度頃の開業は予定どおり行われるのか。

答（都市建設課長） 令和10年春のオープンを目指して進めている。

小中学校体育館の夜間のエアコン使用許可は

問 学校開放において、6月から10月までの暑い時期に、小中学校体育館の夜間のエアコンの使用について、許可することはできないか。

答（教育長） 次年度からは、小中学校の体育館において、夜間や学校開放時の冷房設備の利用を許可する方向で準備を進めている。ただし、現在の厳しい町の財政状況に鑑み、野球場やテニスコートの夜間ナイター設備の利用料金と同様の趣旨で、体育館の冷房設備の利用に伴う受益者負担金をいただくことに、利用者の皆様のご理解を賜りたいと考えている。

こんな質問もしています

- ・ 社会体育館へのエアコン設置について
- ・ 中学校制服の購入代金の一部補助について



令和10年春頃のオープンを目指して各手続が予定どおり進んでいる旧両水跡地周辺



河川 高橋川の 整備計画を求む

「私の視点」

2019年の台風第19号の内水氾濫から6年。整備には多額の費用と期間を要するが、まずは町民の命を守る施策を進めるべきではないか。

答弁（町長） 令和8年度に基本計画策定業務を実施したい

問 高橋川の整備に関してどのような課題認識を持っているか。

答（町長） 令和10年度末には新たな樋門が完成する予定となっている。ただし、その上流となる県道高崎伊勢崎線の南側の石積み部分や自然護岸部分については、土の流出により宅地の浸食が発生していることから、その部分の護岸改修をどのように進めるかが課題となっている。

問 整備計画の策定に向けてどのような方針で取り組む予定か。

答（町長） 整備を検討するに当たり、まずは、どういった作業が必要で、どのような手順で実施するのか、どのくらいの費用と期間が必要となるのかなどを整理し、今後の取組方針を定めるための基本計画策定業務を令和8年度に実施したいと考えている。



枯れ木の除去や除草作業等、大雨に備え町民の命を守る行動を求める（高橋川）

移住定住希望者への発信強化を

問 玉村町魅力発信機構からの移住定住希望者への発信を強化する考えはあるか。

答（町長） 移住・定住希望者に向けた情報発信は、移住・定住促進のための地域おこし協力隊が本年10月1日から新たに着任し、現在、精力的に活動を始めているところである。早速、移住支援サイトを作成しており、年内には、サイトの公開ができる運びになっている。移住を考える方は、観光地やグルメを調べるより、移住に特化したサイトから情報を得ることになると思うので、そのサイトを運営しながら、継続的に充実を図っていくことで、より効果が期待できると考える。

それぞれ、お互いの役割を果たしながら、連携を密にし、サイトについてもリンクをつなぎ合わせていければと思っている。



群馬県玉村町
移住・定住支援サイト

こんな質問もしています

・ガソリン暫定税率廃止に伴う町財政への影響について





防災

教訓を踏まえた 防災・減災対策を

「私の視点」

玉村町の防災に関する伝達方法の充実・避難困難な住民への伝達方法の検討・避難場所の徹底・避難備品の備蓄など、常に情報に耳を傾け、注意しなければならない。

答弁（町長）ソフト面の対策計画の充実を図り、住民への周知・情報提供に努める

問 台風第19号での高橋川流域の被害状況と、町の当時の対応は。

答（町長）高橋川が流れる上福島地内の被害については、北部公園南側住宅地で住家が16件、床下浸水に見舞われた。堤防を越えて洪水が発生することはなかったが、上福島地内の水路があふれ、床下浸水の被害につながった。

当時、玉村町では台風第19号の接近に備え、保健センターと文化センターを自主避難所として開設した。また介護が必要な方や独り暮らしの高齢者のために老人福祉センターを福祉的な一時避難所として開設した。

問 上陽地区高橋川流域の今後の防災・減災対策は。

答（町長）今後の豪雨・台風に対応した防災・減災対策としては、ソフト面の充実を図ることが優先事項とされている。

町では、地域防災計画を定めているが、当該計画を上位計画とし、浸水シミュレーションによる解析・検討結果を踏まえ、下水道やその他関連分野におけるソフト面の対策計画の充実を図るとともに、住民の方への周知、情報提供に努め、防災に対する意識を高めていきたいと考えている。

上陽地区の通学路や主要交差点における歩行者の安全確保

問 町として、上陽小学校周辺の交通安全対策について問う。

答（町長）通学路の点検を毎年行っている。点検箇所については、各学校でPTAを活用するといった方法などで、保護者から要望を吸い上げた上で点検を実施している。

その上で、点検した地点については、どの担当部署が対応するかを決定し、速やかに整備に着手しているところである。

また、地元区長からの要望や町職員のパトロールなどにより危険だと判断される地点については随時整備を行っている。

こんな質問もしています

- ・買い物難民対策について
- ・上陽分団の前面道路（町道3041号線）の拡幅工事の進行状況について



上陽地区で行われた防災訓練で防災士の説明を真剣に聞く町民の皆さん



住宅 住宅リフォーム補助制度は地域経済活性化に有効か

「私の視点」

低迷している地域経済の活性化対策として、住宅リフォーム補助制度がある。公共下水道へ接続する排水管工事も対象であり、接続率の向上を望みたい。

答弁（町長） 2億円を超える受注と地域内経済循環が図れている

問 低迷している地域経済の活性化対策として、町は令和7年度の補正予算として6000万円を住宅リフォーム補助制度に充てている。

現在までの申請件数は何件か。また、公共下水道への接続を含む排水管工事も対象になっている。接続率を上げる良い機会だが、申請件数と周知は十分にできているか。

答（町長） 申請件数は10月末現在310件で、補助額は2588万6000円。現段階において、2億円を超える受注機会の創出と経済循環の効果が図れていると感じている。

公共下水道への接続を含む排水工事の申請件数は10月末で36件、補助金額は326万8000円であり、この補助制度を利用した公共下水道への接続件数が増えることを期待している。

安全対策としてカーブミラー設置 予算のさらなる確保を

問 カーブミラー設置要望は、各区長から町へ申請が出されているが、新規設置は9か所、補修と改修を入れても年に20か所であり、設置に時間がかかり住民は危険な道路横断に困惑している。しっかり予算を確保して、交通事故等から命を守る対策を速やかに行うべきではないか。

答（町長） カーブミラーを含む交通安全施設整備事業は、令和6年度は、949万2000円の予算を利用して、カーブミラーや外側線、視線誘導標などの整備を行った。そのうち、カーブミラーに関しては新規9か所、鏡面の交換など

の補修を7か所、鏡面の追加などの改修4か所の合計20か所の整備を行った。

一方、各区からカーブミラーに関する区長要望は、令和6年度で17か所の要望があり、現在、町内全体として57か所の区長要望が未着手となっている。まだ多くの要望箇所が残っているため、可能な限りの予算措置を目指していきたい。

なお、要望箇所に対する施工順は区長が優先順位を決め、町としては交通量と視認性の悪さなどを検討して、危険度が高い場所から整備している。

こんな質問もしています

・高崎市で建設予定の「BETTER DAYS」に関する町との協議や今後の道の駅対策について



物価高騰対策に対するリフォーム補助金制度は事業者と町民の両方への支援となっている

次のページは



羽鳥議員



川端議員

一般質問



交通

高齢者タクシー
利用補助券の
交付枚数増へ

「私の視点」

現在の高齢者タクシー利用補助券の交付枚数では、移動手段に不安を抱える高齢者の支援に不十分である。たまGOの利便性向上と相まって早期に改善すべきである。

答弁（町長） 現在の48枚から60枚への増刷を検討している

問「高齢者タクシー利用補助券」の交付枚数は原則48枚にとどまっている。移動手段を自ら確保できない高齢者にとって、補助券が月2～4枚程度では、通院・買物・行政手続等の移動需要を十分に満たしていないと考える。補助券の増刷を検討する考えはあるか。

答（町長）補助券を必要とする方に、より適切な支援を行うため、特に運転免許を持っていない高齢者の方を対象に交付枚数を現在の48枚から60枚に増刷することを検討している。

問 今後、補助券の利用者数の増加が見込まれる中、たまGOとの統合的な見直しを検討しているか。

答（町長）たまGOの運行時間の延長をはじめ、補助券については現在設けている町外利用制限（乗降地点のいずれかが町外の場合には1回の乗車につき補助券使用を2枚まで）の撤廃を視野に入れている。

災害時における民間事業者との災害
協定締結

問 玉村町は避難所運営においては、行政職員のマンパワー不足等が課題となっている中で、防災警備会社による支援導入の可能性についてどう考えているか。

答（町長）協定締結の検討を進め、一層安心・安全な避難環境の整備を可能にすると同時に、行政職員の負担軽減につなげていきたい。

問 県内他の自治体における防災警備会社との災

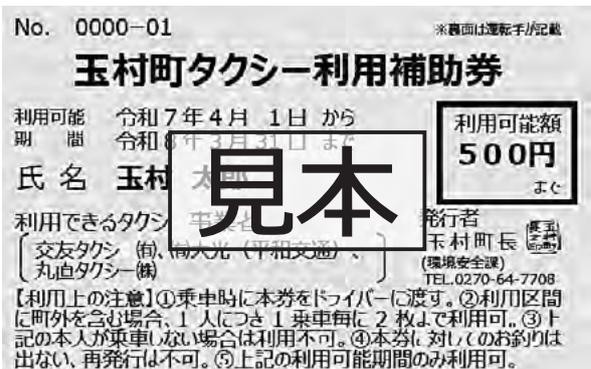
害協定締結の状況はあるか。

答（環境安全課長）伊勢崎市がALSOK群馬株式会社と「災害時における避難所等の安全確保等に関する協定」を締結している。業務内容としては、避難所等の警備のほか無人航空機による被災状況の情報提供等である。

町政運営における財政戦略について

問 令和6年度決算において、繰越金の多寡にもつながる実質収支比率8.1%は、国の指標（3～5%）に比して高いのではないか。

答（総務課長）群馬県の町村の平均は7～8%ほどであり、特段玉村町が高いというわけではない。



今後、利用枚数増と町外利用制限の撤廃が見込まれる



交通
交通弱者の
安全確保を

「私の視点」

旧国道354号の歩道整備が全くなされていない地域がある。大型車両や通勤車両が多い道路の歩道整備は急務。

答弁（町長） 危険な状況なので歩道整備を県に働きかける

問 旧国道354号（県道綿貫篠塚線）の歩道が設置されていない区間について早急に対応を。

答（町長）土木事務所によれば、県道綿貫篠塚線の玉村管内の歩道整備については、通学路の安全確保を目的として、平成25年度から令和2年度までを1期工区として、上飯島交差点から西側の両側歩道について整備を実施し、令和4年度からは2期工区として、下新田交差点から玉村小学校付近までを実施中とのことである。

現在は道路の北側の工事を実施しており、北側完了後は南側の歩道整備を行い、その後、上新田地内の玉村八幡宮から玉村高等学校入口までの間の両側歩道の整備を実施する計画とのことである。それより西側については、現時点では未定とのことである。

玉村高等学校入口より西側の歩道についても、幅員は狭く、危険な状況なので、引き続き、歩

道整備が延伸されるよう県に働きかけていきたいと考えている。

※マウントアップ式：歩道面および縁石天端を車道面より高くすることで車道と分離した形式の歩道構造

玉村町B & G海洋センターの今後の運営方針、改修、修繕計画等

問 玉村町B & G海洋センターの改修工事を早急に。

答（教育長）近年は温水プール内の様々な設備等に次々と不具合が発生していることから、令和8年度に館内施設を一新する大がかりな長寿命化工事を行うこととし、今年度はその設計に取りかかっている。その際、ジャグジーは採暖プール※へ仕様を変更する。

※採暖プール：体を温めることを目的とした温水プール

温暖化に伴う教育関連設備の対応等

問 学校給食センター調理室の対策を実施し、安全な給食の提供を。

答（教育長）学校給食センターの調理室や洗浄室については、室内全体を冷やす冷房設備は設置されておらず、室内が高温となり、体調を崩す作業員も出るなど労働環境的には大変過酷な状況となっている。調理室・洗浄室全体については、冷房設備の早急な設置が必要と考えている。



歩道もないのにどうしたら安全に歩けるのか。手前はマウントアップ式※で危険な歩道

次のページは



笛木議員



高橋議員

一般質問



検診

**乳がん検診
 無料受診シール
 対象拡大を**

「私の視点」

乳がんは早期発見・早期治療により、9割以上が治るとされている。そのためにも検診の受診シール（無料対象）を活用し、受診率の向上が重要である。

答弁（町長） 好発年齢期間の受診率向上を目指す

問 乳がんの患者数は年々増加。日本人女性の9人に1人が罹患している。従来は40代後半から50代後半に多く見られたが、近年は60代から70代の罹患が増加していると聞く。

このことから検診による早期発見の重要性がこれまで以上に高まっている。受診シール（無料対象）の活用状況、受診状況はどれくらいか。

答（町長）受診シールは、対象年齢を46歳、48歳、50歳、52歳、54歳、56歳、58歳とし、該当者に配付しており、令和6年度の実績では無料対象者の受診率は13.3%であった。

一方で受診シールの対象ではない場合の検診状況については、受診率は5.7%であった。職場や人間ドックでの受診率については把握できていないため、正確な数ではないが、受診率は例年横ばいである。検診により早期発見、治療につながった事例も報告されている。

問 受診を促すための取組は。

答（健康福祉課長）毎年度3月末に次年度の検診の案内を個別に送付。

令和8年度より、町の乳がん検診申込み後、未受診の方に再勧奨の通知を送付実施する予定である（今年度は子宮がん検診について実施済み）。

問 今後の対象年齢の拡大の考えはあるか。

答（町長）受診シール無料対象年齢は、乳がん好発年齢※の期間に設定されており、また乳がん検診は2年に1度の検診となっている。対象

年齢で受診した場合、乳がん好発年齢期間の14年間は無料で受診できるようになっているため、対象年齢の拡大の予定はない。

近年、乳がん罹患率は高く、女性にとって最も多いがんであるが、早期発見・早期治療により、高い確率で完治が見込める。乳がん好発年齢期間に、多くの方に受診していただけるよう情報発信を強化し、受診率向上に取り組んでいきたいと考える。

※好発年齢：特定の病気にかかりやすい年齢層

こんな質問もしています

・町内の危険箇所等について



マンモグラフィ撮影装置（乳房X線撮影装置）。早期発見・早期治療のためにも好発年齢期間の受診率向上を



防災

矢川樋管付近の 水防対策の充実 の考えは

「私の視点」

令和元年の台風第19号により、矢川樋管付近で冠水被害があった。被害の軽減に向け、町は積極的に対策を進めるべきではないか。

答弁（町長） 整備費用の確保や工事の着手について検討していきたい

問 矢川樋管付近の水防対策の充実の考えは。

答（町長） 令和元年の台風第19号により、矢川樋管付近で冠水被害があったことから、被害の軽減に向け、令和3年度と6年度に調査検討業務を実施した。調査の結果、冠水対策としてバイパス水路の整備が適当であるとの結論が得られたが、整備費用の確保や工事の着手について検討していきたいと考えている。

問 現在の避難所の設置運営の状況は。

答（町長） 現在、玉村町で大地震や風水害等の災害が発生したときに開設する指定避難所は10か所。

内訳は公立小中学校7校のほか、勤労者センター・社会体育館・文化センターである。福祉避難所は、老人福祉センターと障害者福祉センターたんぼぼの2か所が指定されている。



早めの避難行動は自分だけでなく、家族や周囲の人の命を守る大切な行動

避難所の開設は、災害の種類や規模、被害が想定される地区によって開設する避難所を判断することになる。

五料・飯倉地区農地利用活性化 基本構想

問 現在進めている五料・飯倉地区農地利用活性化検討委員会の今までの成果は。

答（町長） 基本構想では活性化に向け、「農地の活用」、「地域活性化につながる特産品の創出」、「農業系企業誘致」の3方針を提示。

農業系企業誘致については、「地権者・地域住民」「既存の農業者」「参入企業」「玉村町」の4者それぞれが「玉村町に参入してよかった」「企業が来てくれてよかった」と思える企業誘致を実現するため、『始めるなら、この場所で』をキャッチフレーズに「玉村町農業企業誘致ガイドライン」を策定し、企業誘致に係る町の事業指針についての情報を整理し、各企業向けに情報提供を行っている。

さらに本年度から、群馬県が実施している農業系企業誘致事業のモデル自治体として「農地情報の見える化」事業にも参画しており、その効果として、本町の農地に興味を示している農業者や企業と参入に係る協議も進めているところである。

次のページは



嶋田議員



堀越議員

一般質問



防災 矢川樋管の 安全性は

「私の視点」

矢川樋管周辺のフェンス全体にシートが巻かれ、袋が破れた土のうが積まれている状況に不安の声が寄せられている。安全に対策を行うべきだ。

答弁（町長） いくつかの安全な対策を検討中

問 シートや土のうより頑丈な対策などの改善をする考えはないか。

答（町長） 矢川樋管周辺では、令和元年の台風第19号の際に烏川の水位が上昇したことにより、農業用水路等からの雨水が流れづらくなったことが要因で内水氾濫が発生した。

周辺地域に床上・床下浸水の被害が発生し、応急的な措置として、矢川樋管周辺のフェンスから排水が逃げないようにするため、フェンスにシートを巻き水路からの排水が溢れないように囲い、排水ポンプ等を用いて堤外へ排出する



不安の声が寄せられている矢川樋管周辺に安全対策を

ことを計画している。

土のうはそのシートを抑えるために設置したが、設置から6年が経過し、土のう袋も劣化していることを確認している。袋が破れて中身が崩れ始めているものもあり、現状のものを新しい土のうに置き換えるのか、フェンスを強固なコンクリート製に作り替えるのか、別の場所から排水の逃げ道を作るのかなど、いくつかの方策について、都市建設課とも意見を交えて検討していく。

デマンド乗合タクシーたまGOの 利便性向上

問 利用時間を変更する考えはないか。

答（町長） 運行時間を延長することで、事業者と協議を進めている。ただし、運行時間を延長すれば追加の費用負担が発生することや、それにより収支率が悪化すれば、群馬県の補助要件を満たさなくなる可能性や一般のタクシー会社の経営に悪影響を及ぼすリスクも考慮しなければならない。そのようなリスクも考慮した上で、現在、9時～16時の運行を8時30分～17時へ延長する案を検討している。

令和8年度からの変更が可能となるよう、協議を進めている。



福祉

地域で放課後の居場所づくりと不登校支援の推進を!

「私の視点」

児童生徒、高齢者、高校生や大学生の交流は、孤立予防、生きがいや健康増進、社会参画の入り口になると考える。場の提供を行う考えは。

答弁（町長） 多世代が交流を深める場を町が提供していきたい

問 不登校児童生徒への支援について、高齢者の居場所や児童館等の地域資源と連携を強化する考えはあるか。

答（教育長）不登校児童生徒の状況は多様であるため、一人一人の状況に応じ、丁寧に寄り添って対応する必要がある。児童館等の連携は可能性の一つとして考えられるが、現在は主に校内教育支援センターや教育支援センター「ふれあい」を児童生徒の居場所として、対応している。

問 高齢者の居場所では「児童を受け入れたい」という声もある。子供たちと一緒に畑で野菜を作るなど、地域の方にも関わっていただく考えはあるか。

答（教育長）適切な支援を行うためには、教員免許等の専門的知識を有する職員の関与が必要であることに変わりはない。しかし、体験活動や作業活動を通じて子供たちの心を育むことは大きな成果と意義をもたらすと考えており、そうした分野での地域参加は有益であると認識している。

問 小中高生から「放課後に集まれる場所が少ない」との声が上がっている。町の対応は。

答（子ども育成課長）児童館は一般利用が可能。放課後18時まで、学校が休みの日は10時から利用できる。

問 児童生徒の居場所として地域資源の積極的活用や多様な大人とのつながり、構築を国も求めている。放課後の居場所不足について町の認識と、多世代交流の仕組みづくりの方向性はど

うか。

答（町長）本町では、元気な高齢者がいる一方で子供が減少し、若者が生きづらさを抱える状況も見受けられる。リニューアル予定の老人福祉センターは多世代交流の契機になり得ると考えている。玉村町B&G海洋センターのプール等、世代を超えて利用される施設もあり、町としては交流を深められる環境や場所を提供していきたいと考えている。引きこもりや学校に行きづらい子供たちに対しては、当事者の思いに寄り添い、多様な人々の意見を聞きながら外に出るきっかけをつくる取組を進めていく。

こんな質問もしています

・健康寿命を延ばす町づくりと、介護保険料県内統一化への対応



リニューアルした老人福祉センター内の多目的交流スペース





保 全 サイバー セキュリティ 対策は

「私の視点」

近年、企業や自治体へのサイバー攻撃が増加している。玉村町の行政システムや住民情報の安全確保は重要なテーマだ。町はどのように取り組んでいるか。

答 弁 (町 長) 技 術 的、組 織 的、人 的 対 応 等 を 実 施

問 大手企業のネットワークがサイバー攻撃を受け、システム停止や情報流出といった被害が多数報告されている。さらに自治体の行政システムや住民情報を狙った攻撃も発生していると聞く。町のセキュリティ対策は万全か。

答 (町長) 技術的・物理的対策として、「マイナンバー利用事務系」と「L GWAN接続系」、「インターネット接続系」の3つのネットワークにシステムを分離し、それぞれの特性に応じた対策を講じている。また組織的・人的対策の面からは、情報セキュリティポリシーを策定し、職員への継続的な周知・情報セキュリティ研修を実施している。

問 議員がウイルスに感染したUSBメモリーを役場に持ち込み、役場のパソコンに接続した場合、そのパソコンにウイルスが感染する危険はないか。

答 (企画課長) ウイルスの危険性を排除するため、まず、インターネット環境と遮断したスタンドアロンタイプのパソコンにデータを移し、その後、専用のUSBメモリーを使用し、ウイルスチェックをかけて、データを庁舎内のパソコンに移すよう対応しているので、問題がないような仕様となっている。

桜の被害とクビアカツヤカミキリの対策は

問 クビアカツヤカミキリの被害を多く見かける。町の対策は。

答 (町長) 公共用地に関しては、被害木の伐採や防除を行っている。被害が県内に蔓延しており、今後被害の拡大を防げるような対策を講じていきたい。



私の家で捕まえたクビアカツヤカミキリ

庁舎1階にあるデジタル表示パネル、復活できないか

問 総合案内の上にあるデジタル表示パネルが消えたままになっているが、復活できないか。また、南側のデジタルサイネージパネルは、画像の切替え速度が早すぎる上に輝度が高く、周りの掲示物に目が届かない。改善できないか。

答 (町長) デジタル表示パネルは、時期に応じてお知らせ等を随時表示している。町の紹介画像や動画などについても適宜表示していきたい。また、南側のパネルの画面が変化する間隔や画面の明るさについては、見直しを考えていきたい。

こんな質問もしています

・道路の修繕と道路の長寿命化について



議会の総意で

町を動かせ

政策提言

政策提言とは、議会の常任委員会で調査研究した所管事項から「町の喫緊の課題として特に取り組むべき」として、議会の総意としてまとめたものです。

令和7年9月16日に石内前議長から石川町長及び鈴木教育長に提言書を提出。町に対して、検討結果等を令和8年2月12日までに回答するよう求めています。 ※町への回答については次号に掲載します。

1

防災庁誘致

国は2026年度までに、「防災庁」の設置を地方に創設することを検討している。これを受けて、群馬県は県内誘致に名乗りを上げ、積極的な取組が始まろうとしている。

さて、群馬県内において、この防災庁の誘致先として適地となる場所を考えた時に、玉村町は誘致する条件を備えた最適地である。そこで、防災庁の誘致を県と一体となって取り組むとともに、県の誘致に向けた計画段階から玉村町が誘致先として位置づけられるよう、以下の提言を行う。

- ①防災庁誘致に向けたプロジェクトチームをつくり、玉村町の防災拠点としての優位性を速やかに取りまとめるとともに、県に玉村町の防災拠点としての優位性をアピールしていくこと。
- ②県と一体となって迅速な誘致活動に取り組むこと。



提言書全文は
議会HPで公開

2

多様性に柔軟に対応できる教育環境の整備と地域連携の推進

多様性に柔軟に対応できる教育環境の整備と地域連携の推進について

近年、玉村町では少子化の進行により、小・中学校の児童生徒数が継続的に減少しており、それに伴って学級数も減少傾向にある。特に芝根小学校や上陽小学校では、学年ごとの学級数が1クラスとなる状況が進行している。

また、特別支援学級及び通級指導教室に通う児童生徒数は増加している。このような状況は、児童生徒の学習環境や教職員の配置にも影響を及ぼすため、早急に対応策を講じる必要がある。本町の未来を担う子供たちの学習環境を守るために、町として主体的かつ柔軟に対応していくことが求められる。教育の質の維持と地域の活力を両立させる政策展開を強く求める。

そこで、次のとおり提言する。

- ①多様性に柔軟に対応できる教職員の配置の検討
- 今後の児童生徒数の推移及び特別

な支援を要する児童生徒の増加を踏まえ、学校統廃合や学区再編の是非について住民と丁寧な議論を進める。

特に小規模校において、空き教室の有効活用を進めるとともに、教育の質を維持向上させるための人員配置や指導体制の充実を図ること。

②教員支援体制の強化

個別最適な学びの充実を図るため、ICT機器の活用による学習支援を推進するほか、教職員の多忙化を防ぐための人的資源の確保と働き方改革の推進も併せて進めること。

③地域との連携による学校支援等の強化

地域企業や退職教員、地域人材等の活用による学習支援・体験活動支援を推進・強化すること。

④住民への丁寧な情報発信と合意形成

児童数減少等に伴う教育環境の見直し・整備について、住民からの意見や要望を聴取するなど、透明性と合意形成を重視すること。

総務 経済

常任委員会

委員長 堀越真由子 副委員長 峯岸敬一 委員 嶋田由紀子・羽鳥光博・備前島久仁子・月田均

安全性を最優先に、 効率的かつ適正な公金管理を

●公金の安全性と収益性の両立

公金とは国や地方公共団体が所有するお金のことである。税金や施設の使用料等(歳入)、工事請負代金や物品購入代金等(歳出)など、行政が公共の目的を達成するために使うものである。公金は町民の大切な財産であり、その管理は地方自治法等の規定に基づき、最も安全かつ有利な方法で行う必要がある。

●公金の運用

公金の運用については、的確な収支予測により、日々の支払いに必要な資金を確保しながら、資金の有効活用が図られている。年度内の支払準備金は普通預金・定期預金(普通預金に比べて金利が高く、収益性が高い)等を中心に管理されており、町の貯金である「基金」は、定期預金のほか、債券による運用も行われている。

●安全な公金管理のために「危機管理」

玉村町が取引を行っている金融機関の経営状況が良好であること、また毎年度実施する

定期検査等により、町の公金が適正に取り扱われていることを、把握するよう努めているとのことであった。

現状と今後の課題

議会の点 当委員会は、公金管理について会計課から説明を受け、分類・管理・運用・金融機関選定・債券運用・危機管理等の実態を確認した。

委員からは、誤振込防止や管理規程の適正運用、金融機関との連携強化の必要性が指摘され、また金利上昇を踏まえ、安全性を確保しつつ収益性を考慮した運用方法の検討を続けるべきとの意見が出された。

さらに、住民サービスの充実と将来に備えた資金確保のバランスをどう取るかが難しいとの認識も共有された。

当委員会は、公金管理体制の徹底と誤振込防止、安全性と収益性の両立、住民サービスと財政健全化の調和を重視し、今後も点検・改善及び運用方針の検討を継続していくことを期待する。

花火大会について

財源とバランスの取れた花火大会の構築に向けて

花火大会の開催経費は人件費や物価の高騰などの影響により、年々増加している。ふるさと創生基金の状況や予算に占める花火大会の経費割合等を鑑みると、現在と同等規模の大会を開催することは難しい状況である。

令和9年度は町制施行70周年である。「記念大会として盛大に開催するためにも令和8年度は開催を見送り、2年後の開催に向けて財源の確保に努め、それ以降は無理のない範囲で継続方針の検討を進めていきたい」とのことである。

財源確保を踏まえた花火大会の在り方

議会の点 今回、花火大会について調査を行い、経済産業課からは人件費や物価高騰により開催経費が増加し、町財政への負担が大きくなっている現状や、財源としてふるさと創生基金が2年後には枯渇する見込みであることが説明された。

当委員会としては、花火大会が町民の心のつながりを育む重要な行事であることを確認しつつ、財政や他施策への影響を踏まえ、無理のない範囲で継続方針を検討し、町民の理解と協力を得ながら大会の意義を守る努力を期待する。

研究テーマ：地域公共交通の再編により、住民の利便性は高まったか

民生文教

常任委員会

玉村町の公共交通再編事業の 現状と課題

委員長 松本幸喜 副委員長 井上景子 委員 川端悟・笛木美登利・高橋茂樹・浅見武志

●町が進める公共交通再編事業

公共交通の再編事業は四つの柱で構成されている。

- ① 町内たまりん四路線の統合とデマンド化
- ② 高崎・伊勢崎両直行便のデマンド化
- ③ デマンド交通による町外アクセスの利便性の向上
- ④ 周辺駅へのバス路線強化（通学時間帯のみ）

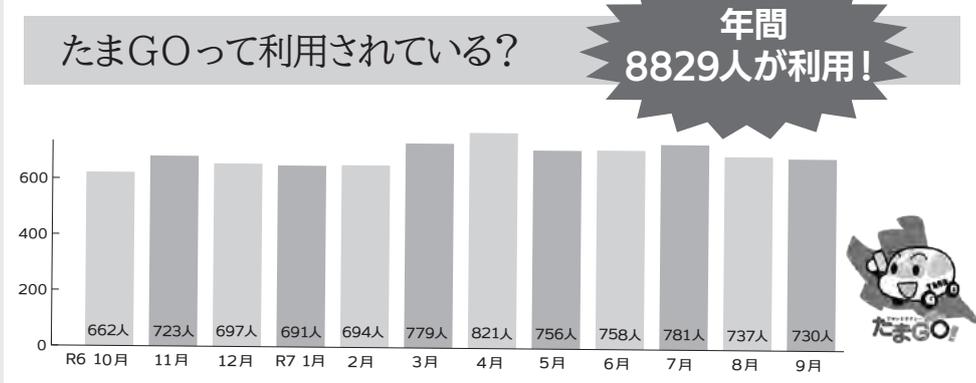
時間帯のみ

現在は、これらの再編事業の内、町内たまりん四路線の統合とデマンド化が行われたところであり、残りの3点については今後も継続的に取り組まれることになっている。

●たまGOの成果

たまりんの年間利用者数が約7000人（学生の利用者数を除く）だったのに対し、たまGOは

◆たまGOの年間利用数 [月別 (乗客数)]



8829人（学生は別途輸送）で、

順調に乗客数を伸ばしている。また、経費においても、たまりんが

約3000万円に対し、たまGOが約2500万円（利用料を含む）

で、経費的にみても約500万円程抑えられている。

利用目的では、買い物や通院が多く、路線バスに乗り換えるための利用も見受けられる。

たまGOの利用者アンケートによると、72%の方が「大変満足」とど

ちらかという満足」と答えており、デマンド方式の利便性の高さがうかがえる結果となった。

●たまGOの問題点

利用状況を見ると、

① 午前の時間帯に利用者が集中し、午後の時間帯に空きがみられる。

② 土日の利用者が少ない。

③ 予約方法の周知が不十分で、一部の利用者に戸惑いが見られる。

④ 高齢者用の交通機関とのイメージが強く、小中学生を含む誰もが利用できる公共交通であることの認識が薄い。

等が挙げられる。

潜在需要を利用につなぐ

の視点

一乗車あたりの経費を見ると、単純計算で一人一乗車2800円ほどかかっており、町内の移動であることを考えるとやや高額である。また、たまGOの予約システム登録者数が800件を超え、潜在的な需要は大きいと思われる。

以上のことから、利用者数のさらなる確保のため、幅広い年齢層に向けた働きかけが望まれる。



玉村町HP
たまGO

こちら編集室

From EDITOR

伝える工夫、続けます

広報編集委員会のメンバーが大幅に変わりました。委員長の私以外は全て新人議員というフレッシュな構成です。早速、群馬県市町村会館で行われた議会広報研究会に参加してきました。

初参加の方は感じたことがたくさんあったと思いますが、私は今回の参加で10回目近くとなります。その中で感じたことは、ここ数年、県内の議会広報誌がうまくなったということです。レイアウトもうまく、白黒からカラーになり、写真もうまく使い、住民が興味を持つ構成で編集されています。また住民とのつながりを大切に、議会への関心を持ってもらおうとする努力を強く感じました。毎年行われている議会広報研修の成果だと感じました。

でもその中で、少し感じたことがあります。議会広報誌は他の媒体と違ったアイデンティティ(独自性)があるべきと感じますが、それが少なくなってきたのでは…ということです。住民に読まれる広報誌づくりは待たないですが、議会の様子を正確に伝え、議会の記録を残す機能も大切にしていきたいと感じました。(月田 均)

議会広報特別委員会

委員長 月田 均
副委員長 川端 悟
委員 峯岸敬一・笛木美登利
嶋田由紀子・井上景子
発行責任者(議長) 新井賢次

ダレデモ傍聴

次の3月定例会は

2026 **3.3** (火) → **19** (木)

本会議・委員会はだれでも傍聴できます。詳しい日程は2月末に議会ホームページでお知らせします。

たまむり議会川柳

インフルエンザ予防接種
すこし遅かったか…
もう冬が来た
(詠み人 カワバツチ)



玉村町議会



ラチオななみ



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています

voice 69
議員記者がゆく!
「聴こう・語ろう」
みんなの
広場
玉村
ミニバレーボールクラブ
【取材：井上景子委員】

バレーボールをやってみたい小学生 募集中!

練習時間/場所

- ◇月曜日……19:00~21:00
芝根小体育館
- ◇木曜日……19:00~21:00
玉村南小体育館
- ◇土・日曜日… 9:00~17:00
芝根小体育館

連絡先

山本 090-3146-9214

聞きたい♪ いろいろインタビュー♪

Q. 指導の中で大切にしている事は何ですか?

A. 高学年になると試合中心になり、ある程度の厳しさも必要になりますが、最終的には“楽しく”が基本です。昔の教え子が親となり、そのお子さんがチームに入ってくることもあり、世代を超えたつながりを感じています。

Q. 指導していて一番の喜びは何ですか?

A. 子供が好きなので、一緒にいられることが楽しいです。小学生の子供たちからパワーをもらっています。同年代の人と比べても元気でいられるのは子供たちのおかげです。

Q. クラブで一番楽しいことは何ですか?

A. 仲間と協力して一緒に楽しく練習できること、そして自分の好きなレシーブをたくさんできることが、とても楽しいです。

Q. 玉村町にやってほしいことは何ですか?

A. 夏場に小学校の体育館のエアコンを使えるようにしてほしいです。

Q. バレーボールの魅力は何ですか?

A. ボールをつなぐことでチームのきずなが深まるころに魅力を感じています。

Q. クラブで一番楽しい事は何ですか?

A. アタックやスパイクが決まった瞬間の「ヨッシャー!」という快感が一番うれしいです。優勝したときはチーム全体の調子がよく、みんな喜びを分かち合えました。セッターとのコンビがうまいときは、勝てる自信が湧いてきます!



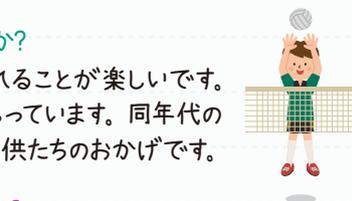
山本督次監督



チームキャプテン
大竹愛さん



ゲームキャプテン
掛川アリスさん



ボールがつながる チームの絆



Instagram
玉村ミニバレー
ボールクラブ

